

COC事業が4年経過 これからもさらに

地域に根ざした大学へ

学生が主体となって

平成29年度はCOC事業採択より4年目を迎えました。採択時に1年生だった学生は4年生となっています。

4年生は、1年生から地域を教室としたCOC事業の各種活動を通して様々なことを経験しており、その成長の証として、主体的に活動できる学生が多くなっていると感じています。

学生がこれまで継続的に取り組んできた小中学生への学習支援は、地域の方々からの評価も高く、教職を目指している学生自身にとっても良い刺激となっています。



キタカラをメイン会場として行われた「コーヒーフェスティバル」

今年度は学生が主体的に取り組んだイベントとして「サンタラン」や「わっかないコーヒーフェスティバル」などがありますが、これまでCOCの各種活動をしてきて学んだことを活かしつつ、発展形としてこのような取り組みを行えるようになったことも事業の成果と考えています。

このほかにも、地域活動報告会の運営や司会など学生の手による活動が行われることが増えたこともうれしい限りです。



子どもたちに笑顔を
チャリティーイベント「サンタラン in 稚内」

地域の課題について研究

COC事業では「地域志向教育研究」として教員が自分の専門領域を活かして地域の課題などに取り組む活動をしており、平成29年度は以下の8件が採択されました。

- ・運動部学生による地域のスポーツ文化構築に向けた取り組みとその可能性(稚内北星学園大学)
- ・カーリング部の歩みを事例に(大学数学教育におけるピア・サポーターの効果的利用に関する研究)(初學者のつまづきポイントに着想を得たオリジナル問題作成)
- ・VRを用いた未来観光(Future STPN)に関する研究
- ・稚内北星学園大学地(知)の拠点整備事業は地域住民の意識に変化を与えたか?(活動報告会等参加者アンケート調査結果を用いた一考察)
- ・新時代産業の人財教育に向けた生徒・学生のコンピテンシー観
- ・次世代e-Learningシステムによる社会人学生への協働学習モデル

ル

稚内北星学園大学におけるICT利用教育の把握・分析と稚内市内におけるICT利用教育への応用

三層の教授-学習活動で構成する「マス・フェア」の実践的研究

これら研究成果については、地域活動報告会等で逐次発表等を行っています。今後成果を地域へしっかりと還元していくよう心掛けていきます。

宗谷地域研究所を設立

平成29年度はこのようなCOC事業の成果や研究等を踏まえて、大学の付属研究機関として、学長を所長とする宗谷地域研究所を設置しました。

本研究所は地域の課題を大学構成員だけでなく広く地域の有識者

や市民の方々と解決していくことを目的としており、まさに本学が今後も「地(知)の拠点」として地域に根ざすべく新しい形態を目指しています。

プロジェクトの第1弾として北緯45度地域の鉄道の移り変わりとその影響による街の変遷などを可視化する「宗谷本線、天北線のヒストリー&ストーリー」可視化プロジェクト」に取り組んでいるところです。

平成30年度はCOC事業の最終年度となりますが、学生が成長できるような様々な取り組みをしていきたいと考えておりますし、成長した学生が地域で活躍することこそが地域への最大の貢献になると確信しております。

COC事業はもとより本学の教育活動について、引き続き、ご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

プロジェクトの一コマから 鉄道の延伸と人口の推移

